

多様な力が育てる、持続可能な農業！



▲楽園プロジェクトの作業風景



▲ひまわり畑の作業風景

福祉関係者向け

農福連携セミナー



「“農”という選択肢 ～就労支援の幅が広がる農福連携入門～」

日時 **2026年 8月21日(金) 10:30~12:15**

対象 全国の福祉関係者（福祉関係者以外の参加も歓迎です）

開催形式 オンライン＋アーカイブ配信

定員 500名

応募締切 8月12日（水）17時

申込フォーム <https://forms.gle/cFkZ9y9tR2j7G2Kp7>

参加
無料

お申込みはこちら



講師へのご質問は、本セミナー参加申込フォーム内で受付しております。 ※当日は、質疑応答の時間は設けておりません。

農福連携 とは

農福連携は、障害者、高齢者、生活困窮者等、さまざまな生きづらさを抱えた方々の農林水産分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組です。

「農」と「福」が繋がることで、農林水産業と福祉の両サイドの課題解決と、地域の活性化や新たな価値の創造につながります。農林水産業やこれに付随する加工、販売等の「農」に、障害者等生きづらさを抱えた方々の「福」が、就労、活動等の形で参画することを通じて、多様な人々が役割を分担し合い、「happy-happy」となる新たな社会の構築を目指すものです。

農福から始まる、誰もが輝ける地域づくり

2026.8.21

福祉関係者向け

農福連携セミナー

ノウフク

プログラム

開会挨拶 一般社団法人 日本農福連携協会 会長理事 皆川 芳嗣

農林水産省農福連携推進室より情報提供

厚生労働省障害福祉課より情報提供

講演①

講師

羽矢 一弘 氏



ノウフク・アワード
2025
準グランプリ受賞

社会福祉法人新友会ひまわり畑 施設長

栽培から加工まで
一貫して手がける

人を耕す農福連携

～栽培から加工まで、ひまわり畑の実践～

昭和60年の法人設立より農業に取り組み、平成16年のひまわり畑設立から農福連携に本格参入。企業と連携し高菜の栽培から一次・二次加工までを一貫して実施。地域農家の農作業受託や一般就労支援を通じ、地域の担い手づくりにも貢献。A型・B型合わせて30名以上の障害者が農業・加工に携わり、工賃向上と農地拡大を達成。ノウフク・アワード2025準グランプリ（人を耕す）を受賞。

ホームページ



講演②

講師

加藤 純平 氏



ノウフク・アワード
2025
優秀賞受賞

特定非営利活動法人楽園プロジェクト 農福連携コーディネーター

チームで挑む
工賃10万円モデル

農福連携が変える、福祉の働く場

～工賃10万円・年間就労を実現した楽園プロジェクト～

農業未経験から農福連携に取り組み、援農型農福連携・ユニバーサル農園・就労継続支援B型事業所を運営。全国でも珍しい民間の有料中間支援組織として、複数対複数の仕組みで最盛期に月約2,000人の稼働を実現。24時間365日作業受注可能な「チームグリーン」を率い、平均工賃約10万円・毎年5名前後の一般就労移行を達成。ノウフクJAS取得。ノウフク・アワード2025優秀賞受賞。

ホームページ



モデレーター 小淵 久徳 氏

社会福祉法人ゆずりは会 理事

群馬県前橋市を拠点に、障害のある方々が農業を通じて高い工賃を得られる先進的な仕組みを構築。施設長を務める「菜の花」での取り組みが評価され、「ノウフク・アワード2022」グランプリや栄誉ある「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を受賞。現在は自然栽培パーティ関東ブロックリーダーをはじめ、農水省の技術支援者育成研修講師、ノウフクJAS検査員、大隅半島ノウフクコンソーシアムアドバイザーを兼任。全国の現場の指導や普及に深く伴走し、トップランナーとして日本各地で活躍している。



今後の開催予定

2027年1月下旬～2月上旬頃
交付金活用セミナー